

<b>Title</b>	ヘンリー・ナウエンに学ぶ苦しみと希望：祈り、共苦、コミュニティ 実施結果：アンケート集計結果の概要(総合研究所 News：臨床死生学研究シンポジウム)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.3, 2013.3：34-37
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4486">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4486</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

臨床死生学研究シンポジウム  
ヘンリー・ノウエンに学ぶ苦しみと希望  
：祈り、共苦、コミュニティ  
実施結果—アンケート集計の結果の概要

ヘンリー・ノウエンは、何にも増して神の愛の伝道者です。その多くの著作は、人間の苦しみと希望、悲しみと喜びを述べ、心の傷や弱さの中に注がれる神の愛を、イメージ豊かに描いています。

長引く経済不況、都市化で深まる孤独、家族関係の崩壊、さらに大震災が人々を追い詰める中、ノウエンのメッセージは、ますます必要とされているのではないのでしょうか。ここでもう一度立ち止まり、ノウエンの語りかけに共に耳を傾けてみませんか。

日時 2013年2月13日(水)14:00～16:30

場所 聖学院大学4号館4階4401大教室

### 【プログラム】

#### 開会挨拶

阿久戸光晴（聖学院大学 学長）

#### 講師紹介

堀 肇（聖学院大学総合研究所 臨床牧会スーパーヴァイザー）

#### 講演

大塚 野百合（恵泉女学園大学 名誉教授）

#### 休憩

#### コメント

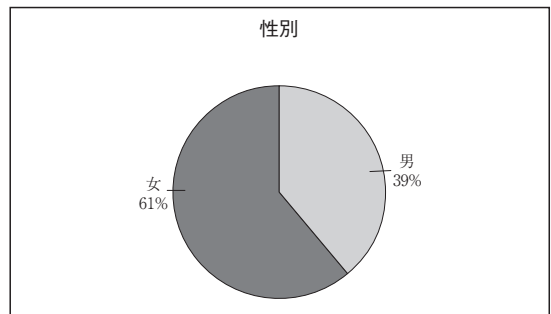
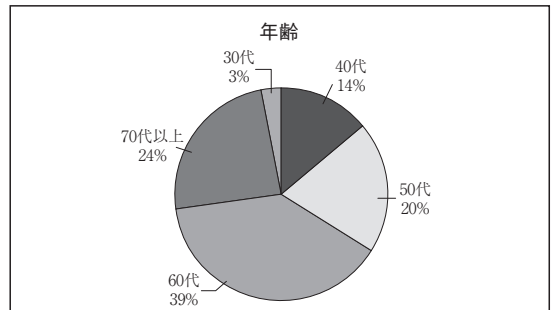
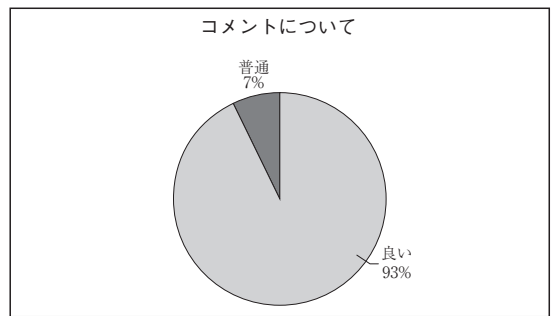
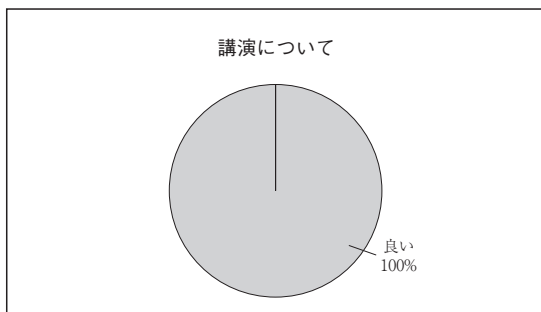
小淵 春夫（出版社あめんどう 代表）

平山 正実（聖学院大学大学院 教授、こども心理学科 教授）

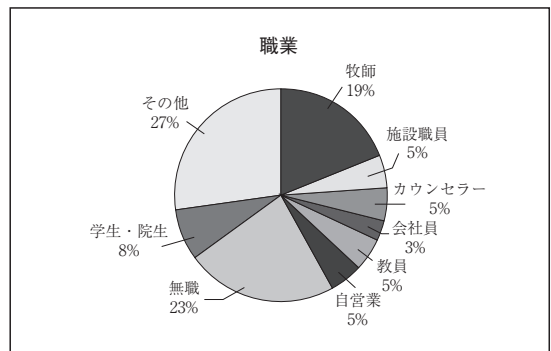
#### 閉会

### 【結果の概要】

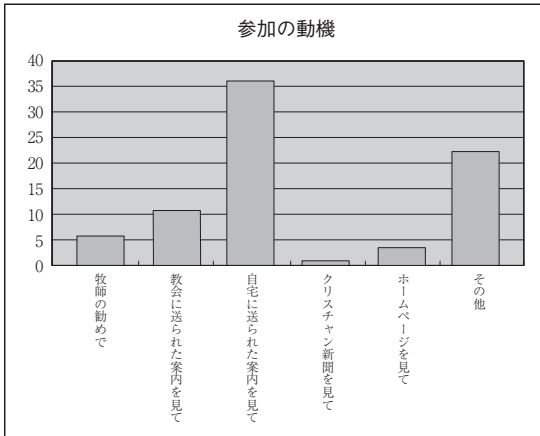
- ・参加者は140名。内、アンケート回答者は79名だった。
- ・講演について「良い」という意見が100%、コメントについて「良い」が93%と大変高い評価を得た。
- ・自由意見については、「興味深く、感動した」「飾らないお話で楽しかった」「心に響いた」「企画に感謝する」



\* 回答者の年齢は、60代が最も多く39%、次に70代以上24%、50代20%となった。  
性別は、女性61%、男性39%だった。



\* 職業別では、「牧師」が19%、「学生・院生」が8%となった。  
「その他」の内容は、「医師」「ヘルパー」など。



\*参加の動機として、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「教会に送られた案内をみて」となった。

「その他」の内容は、「友人の勧め」「教会で聞いて」「ブログで知った」「大学で知った」など。

### 今後の講演会・シンポジウムについて希望

- ・グリーンケアの講演会をお願いします。
- ・聖学院はアクセスがあまり良くないので、都内でやってほしい。
- ・ナウエンについては、シリーズ的に学べる機会が提供されるとうれしい。
- ・日本の福音化が進まないことの考察（多角的）、そして核心部分へ迫る。こんなテーマは古くて新しい内容ではないでしょうか。
- ・ナウエン、ジャン・バニエの継続的な学びがあったら、参加したいと思う。
- ・同じようなことを、もう何回かお願いしたい。
- ・犯罪を防止するには？
- ・カウンセリングのことに興味がありますので、

そのような講座があると嬉しいです。

- ・ジャン・バニエについての講演。
- ・ヘンリ・ナウエンについての講演会・シンポジウムを継続してほしい。
- ・今回のテーマをもう一度取り上げてほしい。
- ・小渕さんのお話もとても良かったので、今度は小渕さんのお話をメインにうかがってみたい。
- ・できれば一人ずつの先生の講演会として、ゆっくり、もっと多くをそれぞれの先生方に語っていただきたかったと思いました。
- ・各講師の持ち時間が短かったのが残念。全体の時間の長さは良いと思います。
- ・土曜日の講演であればよかったと思います。

### 自由意見

- ・大塚野百合さんが7回がんの手術をと伺い、私も4度の手術を受け不死身と言われていますが、先生のユーモアあふれるお話を伺い私もしっかり生きようと思いました。ありがとうございました。
- ・興味深くかつ、感動しました。もっと時間があればよかったのと思いました。
- ・ナウエンについて以前から学びたいと願っていたので、今回の機会は本当にうれしかったです。
- ・いつもタイムリーなテーマで講演会を開催してください、感謝します。
- ・ナウエンの著作はいくつか読んでいましたが、本日の講演をお聞きして、大変興味深く感じました。もう一度手にして考えてみたいと思います。
- ・大塚先生のご講演は本当に素晴らしいものでした。ありがとうございました。自分自身をもう一度振り返り、神の愛がどんなに素晴らしいものであるかを実感し、これからの生き方に変化が起きると確信しました。ナウエンの本をじっくりと読み返したいと思いました。わかりやすく、力強いご講演、さすがだと敬服いたしました。これからも先生が神様の器として用いられますようにお祈りしております。
- ・ナウエンの言葉にとっても影響を受けてきたので、今回のシンポジウムのお知らせを見て、迷わず申し込みました。また、聖学院大学での開催ということで信頼して、出席しました。大塚先生の言葉は確信に満ちておられ、心に響きました。

ナウエンを良く知る先生のお話は納得とともにこれで良い(この生き方でよい)と確認させて(思わせて)下さったと思っています。

- ・とても良かったです。「私たちの受ける苦しみは、神様がすべて経験していらっしゃる」という言葉に慰めをうけました。
- ・灰の水曜日の今日、四句節を始めるに当たって、素晴らしいお話を聞かせていただき、感謝します。静岡のラルシュカナの家、横浜の信仰と光にかかわっている私にとって、その霊性を深める大いなる助けとなりました。
- ・“Jesus loves me.” “Jesus loves you.”これほどすてきなことはないと思います。それを確認させていただくことができました。心より感謝します。大塚先生のユーモアも楽しかったです。小淵先生、平山先生のご発表もとても助けになりました。ありがとうございます。堀先生の司会、すばらしかったです。会場の雰囲気や和んだものにしていただきました。ありがとうございます。
- ・これから著書を読み、その上でもっと何回も深くききたい。
- ・ナウエンと大塚先生と結びつかなかったのも、とても興味深かった。わかりやすくナウエンの苦悩と霊性を教えられました。
- ・飾らないお話で楽しかったです。
- ・今回のテーマは、思いのほか理解しやすく、楽しかったです。「スピリチュアル」について、ぜひ公教的の場へも落とし込みすると、一般の人たちでも“心”(ナウエンの)が浸透するのでしょうか？
- ・ナウエンの生き方から学ぶことにより得られる、自分のあり様を問う「ゆさぶり」を、これからも大事に受けとめ、そこに希望を求めていきたいと願っています。
- ・訳本が難解で苦勞いたしました。講演を拝聴し、霧が晴れた気分です。ありがとうございます。
- ・大塚野百合先生の溢れるエネルギー、現代の話題にきちんと対しておられるお姿に感銘を受けました。
- ・たいへん濃い内容の意義深いシンポジウムでした。

質問用紙をだしました。休憩のあとで他の先生の話やきいて、質問の内容がもっと深まってわかりました。参加して本当によかったです。

- ・2時間半でとても多くのすばらしいお話を伺うことができ、とてもよかったです。
- ・2011年3月の東日本大震災に遭い、今なお苦悩しております。ナウエンの愛ゆえの信仰の苦しみが、キリストから？キリストへの愛を深いものの、痛みをとまなう愛へと導いたのでしょうか。最も感動的な箇所でした。「渴きも」「恋人としての神」昔のカトリックで育まれた、クレルヴォー
- ・大変力強く語られ、わかりやすく、目からうろこ。
- ・42年前に恵泉で講義を拝聴させていただいた時と同じ迫力を感じ感動しました。病気との闘いがあったと伺いました。どうぞ、お身体をご自愛ください。これからも益々のご活躍をお祈りしております。
- ・大好きなナウエンの本を、又改めて読み直してみたいです。又違った共鳴を覚える事と思えます。
- ・ナウエン…今日も聖霊の働きについて、確信を得ました。底の底まで神話は働いてくださる。
- ・よい学びをさせていただきました。ありがとうございます。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・内容、量とも充実していてよかったですと思います。貴重な機会を設けてくださって、感謝です。
- ・大変役に立ちました。ありがとうございます。
- ・良い企画、感謝します。
- ・大変ありがとうございました。
- ・席が狭いと感じました。